

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2013年10月21日現在)生協組合員…6万551人 出資金…15億60万円

# みんなの医療

## 事業所

長野中央病院  
南長池診療所  
稲里生協クリニック  
老人保健施設ふるさと  
徳間デイサービスたんぼぼ  
三本柳デイサービスミント  
戸倉デイサービスゆいっこ  
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが  
在宅総合ステーションながの  
(ケアマネジャー・訪問介護)  
訪問看護ステーションながの  
つるがりハビリセンター  
ショートステイつるが  
高齢者住宅つるがの風



### 歩き続けよう!

## 24時間がんと闘う 患者さんとともに

「リレー・フォー・ライフ」に  
「チーム長野中央病院」参加



今年で2回目となる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野」(同実行委員会主催)が、9月28・29日、城山公園ふれあい広場で開催されました。

このイベントは、「24時間がんと闘っている患者さんと家族を支援する」という同じ志を持った仲間が、24時間歩いて命をつなぐリレーウォークです。医療機関や企業など28チーム・760人がエントリーし、2日間でのべ3300人が歩きました。

成田淳医師を代表とする「チーム長野中央病院」は、山本博昭院長はじめ医師7人、看護師23人、患者さんや職員など、合わせて66人が参加、「あなたとともに中央病院」と書かれた黄色いポロシャツを着て、メンバー交代しながら2日にわたって歩きました。

紙が置かれ、参加者や患者さんが「あなたとともに明日へ」「あなたとともにすてきな笑顔で」などのメッセージを書いてボードに貼っていききました。

参加した職員は、「私もがん患者を支えた家族のひとつとして、共感し参加しました。このイベントが続いていくことを願っています」と。29日朝から参加した小島英吾医師は、「患者さんの気持ちを思いながらも、楽しく歩きました」と語りました。

およそ2人に1人ががんと診断される時代、がんになっても希望をもって生きようとする患者さん

### 想いをこめて作り上げた “大きな黄色のハート”

外科部長 成田 淳

チーム名は「あなたとともに」長野中央病院。チームカラーは鮮やかな「黄色」。いつまでもがん患者を支え続けるという想いを胸に、今回のイベントに参加しました。

リレー・フォー・ライフの「サバイバー(がんと闘う患者)と共に歩き続けよう」の共同企画と、当院オリジナル企画「想いをこめて黄色い大きなハートを作ろう」を、病院スタッフ・スタッフ家族・患者さんと黙々と遂行しました。29日には緑の大地に鮮やかな大きな黄色いハートが出現し、我々もびっくり。頑張ってたよかったです。

28日夜の「エンプティ・テーブル(今は誰もいないテーブル)」では、皆で頑張った患者さんを静かに想うことができ、これからがん患者さんとともに歩み続ける決意をあらたにしました。



と家族、それを切れ目なく「あなたとともに」いつまでもの気持ちで支えようとする医療者の思いがひとつになった、心あたたまるイベントでした。

(編集委員、藤森京子)

### 待合室

長野県は男女共に平均寿命80歳を超え日本一になりました。介護保険を利用して自立しているかどうかを指標とする健康寿命でも日本一です。また、老人医療費と平均入院日数でも国内最低レベルを維持していて、長野県民は単に長命だけでなく、高齢者がとても元気で、就業率が30%を超え、こちらも日本一。公民館の数も日本一で、地域のコミュニティや行事が盛んに行われています。▼長寿の要因として3つの大きな柱が掲げられていました。「運動」「食生活」「生きがい」です。つまり、農業県長野の高低差のある土地での農作業。地産地消で新鮮な野菜を多く摂取する。高齢になっても働き続ける。生きがいを持つ。これらが長寿の秘訣のようです。▼「幸せで長生き」はだれもが願うところ。今こそ、健康づくり、まちづくりを進める医療生協の出番ではないでしょうか。

(は)